

ジェンダーフリー論争

-すぐ使える情報探索の道しるべ-

パスファインダーを使うと、テーマに関する情報や資料を探す手順がわかります。
ここでは、ジェンダーフリーについて調べます。

▽目次▽

1. [キーワード](#)を情報検索のために考える
2. [入門的な情報](#)で、テーマを理解する
3. [図書](#)を探す
4. [論文・雑誌記事](#)を探す
5. [新聞記事](#)を探す
6. [WEB サイト](#)を参考にする
7. [本学図書館にない資料](#)を手に入れる

1.キーワードの例 [▲TOP](#)

ジェンダー・フリー

ジェンダー・フリー・ハッシング

男女共同参画

男女平等

バックラッシュ

2.入門的な情報源 [▲TOP](#)

- 1) 百科事典や用語辞典などで調べる

書誌情報	請求記号	配置場所
『imidas』	R002 G	参考図書
『現代用語の基礎知識』	R002 G	参考図書
『岩波女性学事典』	R367.1 I	参考図書
『女性・婦人問題の本全情報』	R367.2 N 2007-2010	参考図書

- 2) データベースで調べる

➤ [ジャパンレヅ Lib\(学内専用\)](#) 約 50 種類の辞事典、叢書、雑誌の一括検索ができる

3. 図書を探す [▲TOP](#)

1) 書架で探す

図書館の本は、内容を数字で表す分類番号によって並んでいます。
似ている数字＝似た内容の本は棚の近くあるため、直接見て探すことができます。

367/367.1 婦人問題・男女平等

2) [オンライン目録\(OPAC\)](#)で本学図書館にある本を調べる

書誌情報	請求記号	配置場所
『バックラッシュ!:なぜジェンダーフリーは叩かれたのか?』 / 上野千鶴子, 宮台真司, 斎藤環 [ほか著]. 双風舎, 2006.	367.1 U	第2書架
『ことばとジェンダーの未来図:ジェンダー・バッシングに立ち向かうために』 / 遠藤織枝編著. 明石書店, 2007. -- (明石ライブラリー; 116).	367.1 E	第2書架
『ジェンダーセンシティブからジェンダーフリーへ:ジェンダーに敏感な体験学習』 / ジェンダーに敏感な学習を考える会編著.	375 G	第2書架

3) 本学図書館にない本を調べる

- [CiNii Books](#) 主に全国の大学図書館の蔵書が調べられる
- [Webcat Plus](#) 連想検索で幅広く探せる
- [Books.or.jp](#) 入手可能な国内刊行書が調べられる

4. 論文・雑誌記事を探す [▲TOP](#)

1) データベースで論文・雑誌記事を探す

- [CiNii Rsearch](#) 主に学術雑誌の論文検索ができて、一部本文や公開元へのリンクがある
- [MAGAZINEPLUS\(学内専用\)](#) 一般雑誌や学術雑誌の記事情報が調べられる
- 大宅壮一文庫雑誌記事索引 CD-ROM 版(図書館専用) 幅広く一般雑誌の記事情報が調べられる

※雑誌が本学図書館にあるかどうかは、[オンライン目録\(OPAC\)](#)で確認できます。

書誌情報	データベース	OPAC
細谷実“バッシングの背景 男女平等化に対する近年の反動はなぜ起きるのか?—いまや大きなうねりとなっている「バックラッシュ」の背景には何があるのか?(特集ジェンダーフリーって何?)” 『世界』(岩波書店) 738号 (2005.4)p.96-105	CiNii Research	所蔵あり
笹沼朋子“ロー・ジャーナル今、なぜ、ジェンダー・フリー・バッシングなのか” 『法学セミナー』 50巻3号(通号603)(2005.3)p.72-75	MAGAZINE PLUS	所蔵あり

5.新聞記事を探す [▲TOP](#)

1) 新聞や新聞縮刷版を見て探す

- 各社の新聞(約3か月分)はブラウジングルームにあります
北海道新聞、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、日本経済新聞、Japan Times 他
- 新聞縮刷版(北海道新聞、朝日新聞、日本経済新聞)は第2書架にあります
※新聞縮刷版とは、縮小印刷した新聞1ヶ月分を冊子体にまとめたものです。

2) データベースで新聞記事を探す

- [朝日新聞クロスサーチ\(学内専用\)](#) 朝日新聞記事検索データベース
- 北海道新聞記事データベース(図書館専用)
- 日経テレコン(図書館専用) 新聞約100紙や雑誌の記事、企業情報などが調べられる

※例えばこんな記事が検索できます。

記事情報	データベース	OPAC
「ジェンダーフリー「不使用通知」広がる波紋 女性センター閉鎖、トイレ表示同色見直し」朝日新聞 朝刊 2006年5月12日 22面	聞蔵Ⅱ 朝日新聞クロスサーチ	縮刷版 所蔵あり
「ジェンダー本撤去問題 上野・東大教授ら抗議集会」大阪読売新聞 朝刊 2006年8月27日 31面	日経テレコン	—

6.WEB サイト [▲TOP](#)

1) Web で信頼性のある関連サイトを検索する

- [「内閣府男女共同参画局」](#) 男女共同参画社会の政策・活動等の情報などを掲載
- [「国際基督教大学ジェンダー研究センター」](#) 性やジェンダーにまつわる日本の情報を研究、発信している
- [「女性情報ポータル Winet」](#) 男女共同参画社会形成を目指した情報のポータルサイト

7. 本学図書館にない資料を入手するには [▲TOP](#)

本学図書館にない資料は、以下の方法で入手を試みることができます。
どの方法がよいのか案内したり、他の類似資料を紹介したりもしますので、
まずは2階カウンターへご相談ください。

1) 新規購入依頼（リクエスト）をする

入手可能な本は、一部を除き図書館の蔵書として購入することができます。
およそ1ヵ月で貸出可能になります。

- 2階カウンターでID・パスワード入手後、[新規購入依頼\(OPACメニュー\)](#)からログインして申し込む
- 2階にある新規購入依頼(リクエスト)申込用紙で申し込む

2) 相互貸借を申し込む

本を所蔵している主に他大学図書館へ借用を依頼します。

希望する場合は、2階カウンターへ申し込んでください。

なお、借用先の条件で、貸出期間が短い、本学図書館内のみで利用というような場合があります。

3) 文献複写を申し込む

雑誌は相互貸借ができませんが、必要部分のコピーを取り寄せることができます。

また、本の一部に対しても可能です。

4) 他の図書館へ直接見に行く

近郊の図書館で所蔵している時は、直接見に行く方が便利な場合があります。

札幌市などの公共図書館は、直接行って利用ができます。

他大学図書館は、2階カウンターへ「紹介状」の発行を申し込んでください。